



交小だより

令和2年6月12日発行
交野が原学園
交野市立交野小学校
校長 高峯 育

【交野が原学園のめざす子ども像】 ☆豊かな人権感覚を持ち、自他ともに大切にすること
☆自ら学び、よく考え、粘り強く実行する子 ☆活力を持ち、たくましい心や身体をもった子
【学校教育目標】ともに高めあえる、人間性豊かな子どもの育成



参考

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策 ～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

新しい学校様式を心掛けて通常再開します

6月1日(月)から学校が再開し、段階的に学校生活を進めてきました。はじめは少し硬い表情だった子どもたちも少しずつ笑顔が増え、最近は元気な子が増えてきたと感じます。本当に嬉しいです。子どもたちの居場所は家だけでも、学校だけでもない。両方がバランスよくあることが子どもたちの成長には必要なのだと思います。スタートアップ期間の子どもたちは、大きく体調を崩すこともありませんでした。これも保護者のみなさまのおかげと感謝しております。

6月15日(月)からは、学校を通常再開します。

- ①分割していた学級を元に戻し、担任中心の授業になります。教室も戻します。
- ②時間割どおり、午後からも授業をします。(時程は4月・6月の交小だより参照)
- ③新しいルールの中での休み時間の外遊びをしてもよいこととします。
- ④登校時に集合時刻をずらしていた地区を元に戻します。
- ⑤欠席等の連絡手段は、電話もしくは連絡帳をお願いします。

もちろん、これまでどおり、マスクの着用や手洗いうがいの励行、換気や3密回避を心掛けます。右に文部科学省が示した家庭での取組を掲載しています。ご家庭でも引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

感染防止のケアと心身のケア

感染防止はこれまでどおり継続しますが、併せて、心身のケアも必要です。長い休業であったため、心のケアが必要と思い、2年生以上でアンケートを実施しました。今、困っていることや心配なことが特にないと回答した子はどの学年も4～5割程度でした。半数以上の子が不安を抱えています。「マスクをはずせるか」「勉強についていけないか」「友だちができるか」「うつらないか」等の意見がありました。不安を解消できるよう努めていきたいと思っております。

体のことで心配なのが、熱中症です。梅雨入りしましたが、蒸し暑い日が続きます。マスクをしていると、のどの渇きを感じにくいと言われております。水飲み場の共用を避けるため、オアシス(水飲み場)の使用を停止していますので、水筒を忘れずに持たせていただきますようお願いいたします。持参したお茶等を飲み干してしまった時は、教職員がオアシスの水を水筒に入れる等の対応をします。

また、体育の時はマスクをはずし、距離をとるよう指導します。下校時に苦しさを感じた時はマスクをはずしてもよいことや給食中は前を向いてしゃべらずに食べることも等指導をしています。熱中症は命にかかわります。感染防止と両面で気をつけていきたいと思っております。

子どもの安全確保推進月間

6月は子どもの安全確保推進月間です。大阪教育大学附属小学校の事件から19年が経ちます。子どもを守るのは大人の責務です。「子どもを守る大人のスクラム」を合言葉に、保護者・地域・学校が子どもの安全を確保できるよう連携していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

- 1 毎日の健康観察
 - ・毎日、登校前にお子様健康観察(発熱や風邪症状の有無の確認)を必ず行う。
 - ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
 - ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。
 - 2 手洗いの励行
 - ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
 - ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。(手指消毒薬の使用も可)
 - 3 咳エチケットの徹底
 - ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。
 - 4 3密の回避(密閉、密集、密接)
 - 人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。
 - 「密閉」の回避
 - ・こまめな換気
 - 気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分程度、窓を全開する)、2方向の窓を同時に開けて行う。
 - 「密集」の回避
 - ・身体的距離の確保
 - 飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。
 - 「密接」の回避
 - ・マスクの着用
 - 外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、息が苦しい場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。
 - 室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。
 - 5 抵抗力を高める
 - 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。
- ★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考に工夫していただき、感染が広がらないようご配慮をお願いします。

作成：文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

※行事予定は、各学年だよりをご覧ください。

◇本校ホームページ <http://www.sch.city.katano.osaka.jp/katano-e/>